

津市立ハツ山小学校だより

# この学校にわたしたち

2023. 10. 10

N036

## このメンバーでいく修学旅行～①

10月5日(木)、6日(金)の2日間にわたって奈良・京都方面に修学旅行に行ってきました。新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたとは言え、ウイルスが絶滅したわけでもなくむしろ変異型がまだまだ発生していたり、最近ではインフルエンザも少し津市内で増加傾向にあるなど全員で出発できるのだろうかという不安は日に日に増していきました。6年生児童と話をした時に、「少人数だけどこのメンバーでいきたい」と聞いていましたので、全員で行くことができ、何よりほっとしました。

### 【観光バスに乗るの、はじめて…!】

我が家もそうですが、家族では車で移動することがほとんどでバスや電車を利用したことは極めて稀です。子どもたちがバスに乗ってすぐに聞こえてきたのは「観光バスに乗ったの…」という言葉でした。「そうだよね～」と思ったのですが続きを聞いて驚きました。「社会見学はいつもハイース(津市公用車)やもん」でした。人数が少なく、社会見学はいつも無料の公用車を借りて移動しているからです。新幹線や飛行機でなくてもいいのです。子どもたち

にとっては観光バスが何より豪華で気持ちをワクワクさせてくれたのです。実際に今年の観光バスもよかったのですが今年は座席の間もとても広く(私が足を伸ばせるほど)、シートは人工皮革張り、しかもまだ新しいようで新車の香りもまだ残っていました。



### 【法隆寺・若草山・東大寺】

今年は昨年度とは比較にならないほど、修学旅行生が多く、どこも大混雑していました。市内の学校の校長や他市町の知人の教員にも会いましたが大きな学校は集合・移動、バスの乗降などに大変苦勞をしていました。本校はいつも瞬時に集合してすぐに出発、金閣寺では何と駐車場に入れなくて待機してい

る間に先に降車して見学に行けるなど人数の少なさと子どもたちの協力で次々と見学を行うことができました。昼食後、若草山に出たところでサーッと雨が降ってきましたが何とか子どもたちはぬれずに東大寺の見学・バスターミナルへと進むことができました。



津市立ハツ山小学校だより

# この学校にわたしたち

2023. 10. 11

N037

## このメンバーでいく修学旅行～②

【清水寺より清水坂】

清水寺という名は今や世界でも通じる観光地となっていますが、もともとは「北観音寺」という寺名で、音羽の滝の清水が人々に知られるようになり「清水寺」と改められたのだそうです。

「おとわ」というのは地名で、もとは「乙輪」と書かれていましたが、鎌倉時代の藤原家隆が「流れ落ちる音が鳥の羽音」のようだと詠んだことから「音羽」と書くようになったとも言われています。難しい話は別として子どもたちは3つの水の中から自分で選び、口に含んでいました。



でも、一番のお楽しみは清水坂のお買い物。祖父母や親・兄弟姉妹、友だち…。どこで何を買いか考えながらお土産を選んでいました。いっぱい買えて楽しかったようで何よりです。バスの中やホテルでお土産の袋を見せてくれながら「これは〇〇の、これは△△の…そしてこれは□□の…」と袋越しに説明をしてくれましたが、私にはなぜ外から見てそれがきちんと分かるのかがとても驚きでした。また、奈良の若草山のお土産屋さんと清水坂のお土産屋さんの商品の値段を子どもたちはきちんと把握した上で安い方で購入していて感心させられました。

でも、やはり清水坂。写真を見ていただくとわかりますが、修学旅行と外国人観光客でものすごい人で、この波をかき分け、店の中も人でいっぱいだったにもかかわらず、きちんとめあてのお土産を購入していてすごいなあと思いました。

【ちゃんと昨年度の情報収集してあります】

昨年度の6年生の児童から、修学旅行の細かなことについてもちゃんと伝授されていました。その一つは夜の自由時間の過ごし方です。学校によっては部屋ごとにテレビを見たり、トランプをしたりして楽しむことが多いのですが、去年は児童・職員全員でカードゲームをして楽しく過ごしました。今年もミーティングが終わったあと、1つの部屋で全員でカードゲームをして大人も子どもも楽しみました。そして、就寝時間のあとはすぐに眠りについたようです。

